

平成 14 年 9 月 3 日

原子力発電所における点検・補修作業に係わる虚偽報告等について

全国電力関連産業労働組合総連合

昨日、東京電力株式会社は、原子力発電所の点検・補修作業において、事実の隠蔽や虚偽報告があったことを認めるとともに、まずもって、経営責任を明らかにする観点から、歴代経営陣を含めた役員の辞任を発表しました。

電力総連は、今回の事態は、決して許されるものではなく、特に、社会的信頼が大前提である原子力発電においては、例え安全上問題はなくとも、あってはならないことと考えます。さらに、全容の解明が行われているところでありますが、職場の実態を把握し、チェック機能を働かせるという労働組合の役割と責任において、今回の事態を深刻に受け止めております。

今後、事業者による徹底した調査が引き続き行われ、全容が解明されしだい、二度とこのような問題が起きないように、今回の事態の反省と課題を組織的に整理し、再発防止に向けて責任を持って対応するとともに、経営そして事業運営全般に関してのチェック機能を強化すべく、組織の総力を挙げて取り組んでまいります。

以上